



感染対策室とは

感染対策室は、患者さん・ご家族・病院で働く職員を感染症から守り、安心して医療を受けられる環境をつくるための部署です。

病院の中で感染症が広がらないように日常的な対策を行うとともに、感染症が発生した場合には、速やかに対応し被害の拡大を防ぎます。

病院全体の感染対策の中心となり、各部署と連携しながら活動しています。

感染対策室の主な取り組み

1. 院内感染を防ぐための取り組み

正しい手洗いや手指消毒の方法、マスクや手袋などの個人防護具（PPE）の使い方、病室や設備の清掃方法などについて、具体的なルールを決め、実践状況を確認しています。

2. 感染症の発生状況の確認と対応

院内でどのような感染症が、いつ・どこで発生しているかを日常的に確認しています。通常と異なる増加が見られた場合には、原因を調べ、速やかに必要な対策を行います。

3. 感染対策マニュアルの作成・見直し

インフルエンザや新型コロナウイルスなど、さまざまな感染症に対応したマニュアルを作成し、状況に応じて内容を見直しています。

職員が迷わず行動できるよう、分かりやすい内容を心がけています。

4. 職員への教育・研修

医師・看護師・その他の医療スタッフを対象に、感染対策の基本や最新の情報について、定期的に研修や指導を行っています。

5. 抗菌薬の適切な使用の支援

抗菌薬が必要な場合に、適切な種類・量・期間で使用されるよう、抗菌薬適正使用支援チーム(AST)が確認や助言を行っています。

6. 地域や関係機関との連携

保健所や地域の医療機関と情報を共有し、地域全体で感染症に対応できる体制づくりに取り組んでいます。



《高齢者福祉施設の職員さんと感染対策に関する研修会を実施》

体制

感染対策室は、感染管理認定看護師(CNIC)を中心に、医師、薬剤師、臨床検査技師などの多職種で構成されています。

感染対策チーム(ICT)として、各部署と連携しながら病院全体の感染対策を進めています。

患者さん・ご来院の皆さまへ

感染症を広げないために、以下の点にご協力をお願いいたします。

- 病院内では手指消毒を行ってください
- 必要に応じてマスクを着用してください
- 発熱や体調不良がある場合は、早めに職員へお知らせください

皆さま一人ひとりのご協力が、安全で安心な医療環境の維持につながります。